

## 第7次本別町総合計画第2回審議会まとめ

### アンケート結果に対する委員意見

- ・人口減少はやむを得ない。計画は総花的でなく、事業を選択することが必要。
- ・若い世代が経済的に厳しい状況＝支援が薄いのでは。
- ・生産年齢人口、特に女性の人口を増やす必要がある。
- ・若い世代になるにつれ本別に住みたくないというアンケート結果 ＝ 郷土愛の熟成。
- ・現在も60歳代、70歳代の人たちが多く就労している。その人たちが退いたときに本別で働く人が極端に減る。派遣職員は町外に住所がある人が派遣されてくるので人口が増えない。若い人たちが本別に住み続けていくことができるように基盤づくりを。
- ・本別にとどまりたい人の意見として、家や仕事があるとの町との結びつきと、隣人や友人、親族など人と人の結びつきがある。この2つが重要ではないか。

### 10年後の将来像をどう描いていくのか

- ・災害や犯罪が少なく安全に暮らすことができる、子どもたちが元気に過ごせる、文化的な生活を送ることができる、あたりまえの暮らしができる環境づくりが必要。
- ・これまでの話し合いで生産年齢人口の問題、産業振興の必要性、個々の情報発信でまちづくりを進めて行くべきとの意見もあった。また、若い人たちへの配慮や施策の必要が多く意見として出されたところ、福祉や教育などの施策を通じて、若者への支援を行うということもできる。
- ・まちづくりのキーワードや目標など、事務局で素案を作成してみなさんの意見を反映する形で進めていく。